

## 補助金情報



あけましておめでとうございます。コンサルタントの永利です。  
今回は、令和5年度補正予算の内容についてご説明させていただきます。  
内容が大幅に変更となっておりますので、不明点ございましたらいつでも  
ご連絡下さい。  
増刊号のため補助金以外にも盛りだくさんでお届けいたします。

### ものづくり補助金が大幅リニューアル!!!

毎年恒例のものづくり補助金ですが、17次公募から大幅変更が入ります。  
大きく分けて3点の変更箇所がございますので、以下順にご説明致します。

#### 申請枠の新設と整理

##### ①省力化(オーダーメイド)枠の新設

中小企業・小規模事業者が人手不足の解消等を目的とした、生産プロセス等の省力化の取り組みを進めるため、個々の事業者のビジネスプロセスに応じたオーダーメイド型の省力化投資等を補助上限額を大幅に引き上げて支援。

#### 補助上限額・補助率

従業員規模	補助上限額	補助率
5人以下	750万円以内 (1,000万円以内)	1/2以内※ 小規模・再生2/3 以内  ※補助金額1,500万円までは1/2、1,500万円を超える部分は1/3
6~20人	1,500万円以内 (2,000万円以内)	
21~50人	3,000万円以内 (4,000万円以内)	
51~99人	5,000万円以内 (6,500万円以内)	
100人以上	8,000万円以内 (1億円以内)	

※( )内は大幅増上げに係る補助上限額引き上げの特例を適用した場合  
※基本要件等が未達の場合、補助金返還義務あり(詳細は追って公表)

#### 【参考解説】省力化(オーダーメイド)枠の補助金額が1,500万円を超える場合の補助上限額と補助率の考え方

- 省力化(オーダーメイド)枠の補助率は、原則、中小企業が1/2以内、小規模・再生2/3以内。
- ただし、補助金額が1,500万円までのものは1/2以内、1,500万円を超える部分は1/3以内を適用。
- 例えば、従業員規模が21人以上で投資金額が3,000万円を超える場合の考え方は下図の通り。

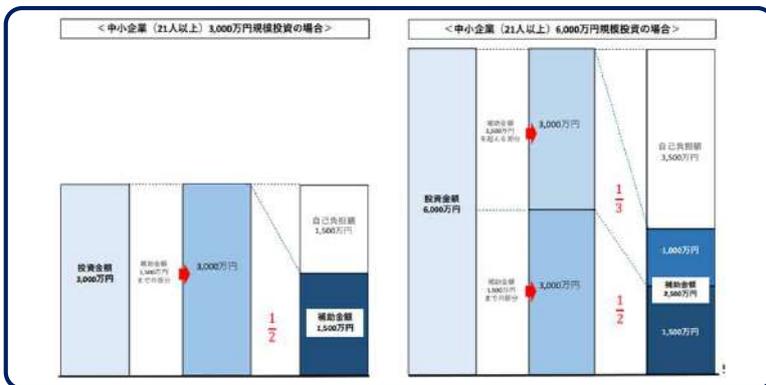
#### 対象事業

人手不足の解消に向けて、デジタル技術<sup>※1</sup>等を活用した専用設備(オーダーメイド設備)<sup>※2</sup>の導入等により、革新的な生産プロセス・サービス提供方法の効率化・高度化を図る取り組みに必要な設備・システム投資等を支援<sup>※3</sup>

※1 デジタル技術とはAI、ロボット、センサー等。 ※2 自社小規模導入ではなく、外部のシステムインテグレータ(Sier)との連携などによりロボットシステム等を構築したものをいう。 ※3 基本要件に加え追加要件あり(詳細は追って公表)

#### 活用イメージ

例) 熟練技術者が手作業で行っていた組立工程に、システムインテグレータ(Sier)と共同で開発したAIや画像判別技術を用いた自動組立ロボットを導入し、完全自動化・24時間操業を実現。組立工程における生産性が向上するとともに、熟練技術者は付加価値の高い業務に従事することが可能となった。



##### ②現行の申請枠の整理

現行の枠を見直し、「製品・サービス高付加価値化枠」と「グローバル枠」に整理統合するとともに、今後成長が見込まれる分野(DX・GX)は通常枠よりも補助上限額・補助率を引き上げることで支援を重点化。

##### ・製品・サービス高付加価値化枠(通常類枠)

#### 補助上限額・補助率

従業員規模	補助上限額	補助率
5人以下	750万円以内 (850万円以内)	1/2以内 小規模・再生 2/3 新型コロナ回復加速化特 例 2/3
6~20人	1,000万円以内 (1,250万円以内)	
21人以上	1,250万円以内 (2,250万円以内)	

※( )内は大幅増上げに係る補助上限額引き上げの特例を適用した場合の補助上限額  
※一定の要件を満たす場合、新型コロナ回復加速化特例の適用により補助率を2/3に引き上げ  
※基本要件等が未達の場合、補助金返還義務あり(詳細は追って公表)

##### ・製品・サービス高付加価値化枠(成長分野進出類型(DX・GX))

#### 補助上限額・補助率

従業員規模	補助上限額	補助率
5人以下	1,000万円以内 (1,100万円以内)	2/3以内
6~20人	1,500万円以内 (1,750万円以内)	
21人以上	2,500万円以内 (3,500万円以内)	

※( )内は大幅増上げに係る補助上限額引き上げの特例を適用した場合の補助上限額  
※基本要件等が未達の場合、補助金返還義務あり(詳細は追って公表)

#### 対象事業

革新的な製品・サービス開発の取り組みに必要な設備・システム投資等を支援<sup>※</sup>

※ 基本要件に加え追加要件あり(詳細は追って公表)

#### 活用イメージ

例) 最新複合加工機を導入し、精密加工が可能となり国際基準に準拠した部品を開発。

#### 対象事業

今後成長が見込まれる分野(DX・GX)に資する革新的な製品・サービス開発<sup>※1</sup>の取り組みに必要な設備・システム投資等を支援<sup>※2</sup>

※1 革新的な製品・サービス開発とは、顧客に新たな価値を提供することを目的に、導入した設備・システムを用いて、自社の技術力等を活かして製品・サービスを開発すること。 ※2 設備・システムを導入する上での限り、製品・サービスの開発を伴わないものは該当しない。 ※3 基本要件に加え追加要件あり(詳細は追って公表)

#### 活用イメージ

例) AIやセンサー等を活用した高精度な自律走行搬送ロボットの試作機を開発



# 補助金情報続き

・グローバル枠

補助上限額・補助率

補助上限額	補助率
3,000万円以内 (4,000万円以内)	1/2以内 小規模2/3以内

※ ( ) 内は大幅賃上げに係る補助上限額引き上げの特例を適用した場合の補助上限額  
※基本要件等が未達の場合、補助金返還義務あり (詳細は追って公表)

対象事業

海外事業<sup>※1</sup>を実施し、国内の生産性を高める取り組みに必要な設備・システム投資等を支援<sup>※2</sup>  
※1 海外事業とは、海外直接投資、輸出、インバウンド、海外企業との共同事業をいふ。  
 ※2 基本要件に及びた追加要件あり (詳細は追って公表)

活用イメージ

例) 海外市場獲得のため、新たな製造機械を導入し新製品の開発を行うとともに、海外展示会に出展

## 大幅賃上げに係る補助上限額引き上げ特例の拡充

- 持続的な賃上げを実現するため、大幅な賃上げに取り組む事業者に対して、従業員規模に応じて補助上限額を100万円～2,000万円引き上げ。
- 事業計画において、補助事業期間終了後3～5年で「①給与支給総額 年平均成長率6%以上増加」かつ「②事業場内最低賃金を地域別最低賃金+50円以上の水準」を満たしたうえで、「③毎年、事業場内最低賃金を+50円以上増額」することとし、賃上げに係る計画書を提出することが要件。
- 要件未達の場合、補助金上乗せ分について全額返還。

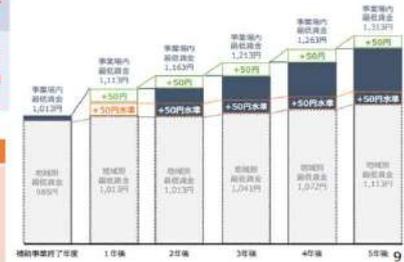
【基本要件との比較】

要件	基本要件	大幅な賃上げに取り組む事業者
①付加価値額	年平均成長率3%以上	同左
②給与支給総額	年平均成長率1.5%以上増加	年平均成長率6%以上増加
③最低賃金	地域別最低賃金+30円以上の水準とする	事業場内最低賃金を地域別最低賃金+50円以上の水準にしたうえで、毎年、事業場内最低賃金を+50円以上増額
※補助金返還の要件	・事業計画終了時点において上記が未達の場合、補助金の一部を返還 ・事業計画期間中の毎年3月末時点において上記が未達の場合、補助金の一部を返還	・事業計画終了時点において上記が未達の場合、補助金上乗せ分を返還 ・事業計画期間中の毎年3月末時点において上記が未達の場合、補助金上乗せ分を返還

【考え方】事業場内最低賃金を地域別最低賃金+50円以上の水準を満たしたうえで、毎年、事業場内最低賃金を+50円以上増額

【補助上限引き上げ額】

従業員数	募集 中心に大規模設備投資 / 500万円以上	省力化特	補助率
5人以下	100万円	250万円	各申請特の補助率による
6～20人	250万円	500万円	
21～50人	1,000万円	1,000万円	
51～99人	1,000万円	1,500万円	
100人以上	2,000万円	2,000万円	



## 注意事項

- 令和5年度補正予算を基に行う公募の補助事業実施期間は令和6年12月10日まで (令和6年12月10日までに、実績報告まで完了する必要があります。延長はできませんのでご注意ください)。

## ものづくり補助金17次/18次公募の公募要領が発表されました！

17次公募では、省力化(オーダーメイド)枠のみ、18次公募では、全ての枠の申請が可能です。

省力化(オーダーメイド)枠の申請をお考えの場合、当社グループ会社「ロボプラス」がシステムインテグレータ(Sier)であるためご協力致します。是非ご相談ください。申請件数自体が非常に少ないであろうと予想しておりますので、狙い目かもしれません。その他の申請枠については、18次公募でのみ申請が可能です。そのため、18次公募への申請は大変込み合うことが予想されます。今回、補助事業実施期間において最終期日に定めがあるため、採択後の手続きをどれだけ早く実施できるかが重要であると考えます。当社では、皆様が安心して補助金へ挑戦をしていただくため、採択後支援にこれまで以上に力を入れるべく体制を整えております。

## 募集中/採択待ちの補助金について

・補助金情報

現在、公募している補助金について

補助金名称	公募締切	募集状況	その他
事業再構築補助金12次公募	未定	(絶賛受付中)	※新しい情報をお待ちください。
ものづくり補助金17次公募	2024年3月1日	(絶賛受付中)	※省力化(オーダーメイド)枠のみ申請可能
ものづくり補助金18次公募	2024年3月27日	(絶賛受付中)	※全ての枠の申請が可能です。



現在、結果待ちの補助金について

補助金名称	採択発表予定	採択発表予定
事業再構築補助金11次公募	2024年2月上旬予想	※審査に時間を要しているとのことで、採択発表が後ろ倒しとなっています。

## 補助金採択後支援のコーナー

事業再構築補助金 進捗状況

2023年12月15日現在(表内数字はお客様の数です)

交付決定

公募回	採択日	交付申請			事業実施	実績報告			補助金確定
		書類依頼中	報告書作成中	申請・修正中		書類依頼中	報告書作成中	申請・修正中	
		お客様	ゼロプラス	事務局		お客様	ゼロプラス	事務局	
4次公募	2022/3/3							3	37
5次公募	2022/6/9				1	2		7	43
6次公募	2022/9/15				4	3	2	8	19
7次公募	2022/12/15	1	2		5	6	12	1	12
8次公募	2023/4/6	7	2		5	8	12	1	11
9次公募	2023/6/15	1	1		2	6	3		1
10次公募	2023/9/22	13	2		1				1

ゼロプラスでは、採択された後も補助金のご入金までフォローが充実しています。担当している東岡山事務センターでは、10名編成により万全の体制を敷いています。昨年秋に業務細分化と複数名でのフォローに体制変更し、対応スピードが140%改善しました。今後も日々進化を心掛け、皆さまのフォローに尽力してまいります。

## 脱炭素の取組はまずCO2排出量を計ることから！

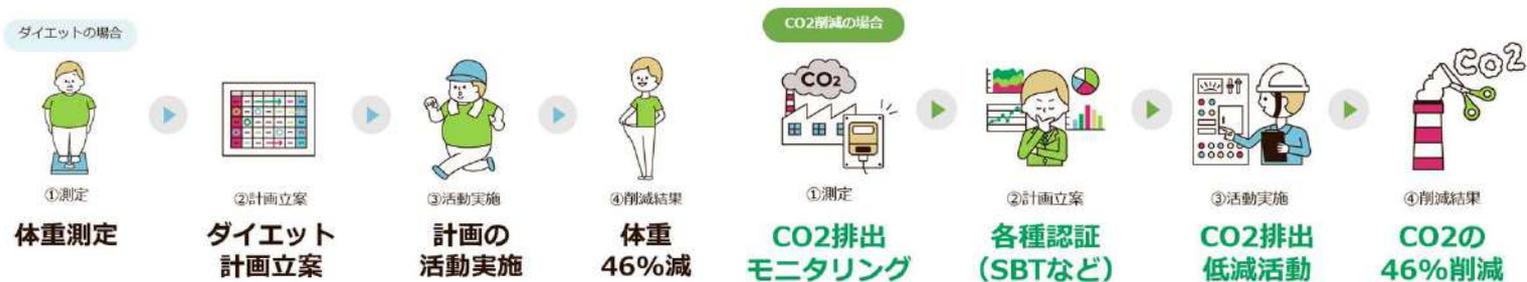
ゼロプラスタイムズVOL.2では、CO2比較ドットコム<sup>®</sup>の無料サービスであるCO2簡易診断の紹介をしました。今回はさらに深掘し、CO2排出量を計ることが大切な理由をご説明いたします！

### 1. 計らないと削減値を明確に出来ない！

脱炭素、省エネ、再エネと聞いて、太陽光パネル設置、EV自動車の購入、省エネ設備などの導入を考える傾向にありますが、まずそれよりも自社のCO2排出量を把握することが重要です！

その理由は、「自社のCO2排出量が不明だと、削減値を明確化出来ないから」です。

ダイエット始めるきっかけって、まず体重計に乗って、やばい！と思ってダイエット開始しますよね？現状のCO2排出量が分からないと削減の方向性すら決められません。



### 2. エネルギー量を集計することでコスト低減が可能です！

ガソリンの月給油量、電気の月使用量の把握・・・出来てますか？

業種によって使用するエネルギーは異なりますが、集計してみると想定以上に使っているなど気付くきっかけにもなります。営業車のガソリン使用量、工場設備の電力使用量などを把握することも含めて、脱炭素への取組のきっかけとして初めて見るのは如何でしょうか！？

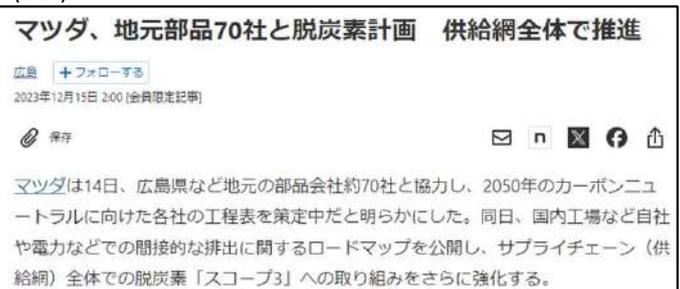
### 3. エンドユーザーからCO2排出量の確認/削減要請が来ます！

右の(図1/2)は、日経ニュースの抜粋ですが、このように一部の工場企業から、既にCO2排出量算出の要請、削減の要請が脱炭素計画として、一部の中小企業に降りてきています。この要請は、サプライチェーンに跨る企業全てが対象となります。

集計にはそれなりの時間と労力が掛かります。取引先から要請が来た時に対応では遅いのです！

要請が来た時の為に備えることが大切です！遅かれ早かれ要請が来るのが確定なのであれば、余裕のある今のうちに取り組んでいきましょう！

(図1) 出所：日本経済新聞



(図2) 出所：日経ESG



## 番外編：インターン卒業生へのインタビュー

山本  
インターン



今回は、約2年半ゼロプラスで長期インターンシップとして活動し、めでたく12月で卒業する林さんに、後輩インターンである私、山本がインタビューさせていただきました。長期インターンシップを始めたきっかけ、成長したと感じる点、ゼロプラスで働く魅力を語ってくれております。

卒業生  
林さん



後輩インターン  
山本

山本：ゼロプラスのインターンになったきっかけを教えてくださいませんか？

林：きっかけは先輩からの紹介です。大学の先輩と居酒屋に飲みに行ったんですけど、先輩から学校で学んでる知識が実際のビジネスで使える良いインターン先だよって聞きました。あとは、上長がすごい美人な人だよって言っていました(笑)。それがインターンへ参加したきっかけです。

山本：インターンの先輩からリアルな現場を教えてもらいながらインターンを決めたということなんですね！  
林さんの業務内容を教えてください。

### 初出展の脱炭素展示会を担当

林：色々な事にチャレンジをさせてもらいました。補助金や脱炭素に関する資料やチラシの作成、e-learningの社内研修動画の作成、コンサルタントに同行しヒアリング。中小企業の社長の生の声を聴けたりと貴重な経験をさせて頂きました。一番印象に残っているのは、脱炭素エキスポと呼ばれる脱炭素の展示会にゼロプラスが初めて出展したことです。その展示会を僕がメインとなり、準備段階からチャレンジさせてもらいました。もちろんそんな経験が無いので、パネルを作るためにはどうするのか、どうやって印刷するのか、業者さんの選定・手配をしたりと初めてのことばかりで大変でしたが、イチから携わることで吸収できることも多く楽しかったです。

▼脱炭素エキスポのゼロプラスブース



山本：ありがとうございます。僕も当日参加しましたが大盛況でしたね。  
これまで経験した業務の中で大変だったなと思うことはなんですか？

### 学生向けケースコンペの集客に苦労

林：先ほどの脱炭素エキスポも大変でしたが、関西の大学生によるケースコンペティションの開催も大変でした。思うように人が集まらず開催が危ぶまれましたが、なんとか実施することが出来ました。人を呼ぶにはやっぱり信頼が必要なんだなっていうのと、人を集めるのってすごい大変だなっていうことに改めて気付かされました。



株式会社 **ゼロプラス**  
ZEROPLUS Co., Ltd

山本:2年半ほどインターンとして仕事をされてると伺いましたけれども、林さんにとってインターンとはどのようなものなんでしょうか？

### インターンの経験は社会で生きる糧

林:僕にとってインターンとは、社会に出る前の猶予期間であり、社会人になる前に自分の基礎力を上げようというトレーニング期間です。

山本:インターンをやってよかったなと思いますか？

林:はい、すごく思います。色々な面がありますが、学生ですとあまり年の離れた人と関わる機会がないと思うんです。インターンに参加することで、そんな方々と一緒に仕事をしたり、自分の親世代の経営者さんの話を聞けたりすると、自分の知らない世界を知ることができるのでよかったです。

山本:林さんから見てどのような人がゼロプラスでのインターンに向いているかお伺いしてもいいですか？

林:やる気がある人ですね。あとは、意欲的に何かやりたいって言える人だと思います。社風として、型に縛られない、やりたいて言った人に仕事が回ってくる環境で、社長も若手にどんどんいろんな仕事を回していきたいという考えの方なので、高い志を持った人であれば、すごく活躍できる環境だと思います。

山本:では、社長とコミュニケーションを取ることができる機会がたくさんあるんですか？

### 創業経営者のすぐそばで働ける環境

林:はい、すごい多いです。っていうのも、今社長の前の席が僕なんでお昼や業務の合間に、社長がおられる時は社長の昔話ですとか、自分の今抱えてる悩みとかをざっくばらんに直接聞くこともできました。社長は人を動かすというか、人に影響を与えるインフルエンサー的な人だと思ってて、社長の話を聞いてるとすごい引き込まれて、魅力的な人だと思います。

山本:ありがとうございます。それでは卒業後の進路について簡単に教えていただけますでしょうか。

林:進路は、人材ウェブをメインとしているベンチャー企業で、幅広く事業はやっているって感じです。

山本:就職先で、先ほどお伺いした学びや身についたことはどのように活かせるかなと考えていますか？

林:やっぱりマーケティング的な考え方と言いますか、お客さん視点に立って考えることが少しはできるようになった部分ですかね。誰がどういった悩みを持つてるのか、じゃあどうという言葉、キャッチコピーで訴えかけたらいいのかを考えることが、営業などで活かせると思います。

山本:ありがとうございます。じゃあ最後に、これからインターンに入ろうかなっていう風に考えてる学生にメッセージをお願いします。

### 長期インターンをするなら絶対ゼロプラス!!

林:入ろうかなって思った時点で、入った方がいいと思います。とにかく社員の方たちは、優しくてすごい優秀な方ばっかなので、話しても、もう勉強ばかりですし、その他、仕事以外のプライベートでもご飯に行ったり、学生だとあんまり行かないような場所にも行けたりするので、自分の世界を広げるっていう意味でも、すごくいいインターンだと思います。

山本:今回はインターン生の林さんにインタビューを行いました。林さん、ありがとうございました！お疲れ様でした。

林:こちらこそありがとうございます！これからも頑張ります！



## 【ゼロプラス長期インターンの募集内容】

対象学年 大学1～3年生

給与 時給 1,300円～ 交通費支給あり

勤務条件 週2日以上  
勤務可能日:月,火,水,木,金  
勤務時間:9時00～18時00の間で1日4時間以上

業務内容 経営コンサルタントのアシスタント  
顧客ヒアリングへの同行、補助金申請書類の作成、企業や市場の分析、研修動画の企画・作成、展示会ブースの企画・運営等

身に付く事

- ・実践的なマーケティングスキル
- ・0から1を生み出す企画力
- ・身近にいるからこそ学べる経営者視点
- ・数字から読み解く実践的な分析力
- ・どこでも通用するロジカルシンキング

ご応募はこちらから↓↓



当社HP

ゼロプラスの歴史や事業内容についてチェック



Youtube

当社の会社紹介や脱炭素セミナーの様子をチェック



CO2比較.com

脱炭素の情報はこちらをチェック



問い合わせ先  
 〒 664-0858  
 兵庫県伊丹市西台1-5-7 伊丹駅前ハイツ2F  
 TEL 072-764-5340  
 FAX 03-6800-5265  
 Mail info@zeroplus-consul.co.jp

## その他情報

### 脱炭素経営の入門書をリリースしました！

この度、代表大場が新たに「下請け製造業のための脱炭素経営入門」の書籍を1月17日に出版しました！

本書は、脱炭素経営の基本から実践的な取り組み、CO2排出量の計算、実用的な補助金活用まで、脱炭素経営を始める際に役立つ情報が満載の本となっています。

「そもそも脱炭素ってよく分からない」「関心はあるけど、やり方が分からない」といった悩みを持つ方は、是非右記のQRコードから詳細をご覧ください。

本書のQRコード



### Instagramのアカウントを開設しました！

この度、Instagramのアカウントを開設しました！まだ始めたばかりなので、投稿数は少ないですが、社内の様子や、役立つ情報を投稿していきたいと考えております！

もしよろしければ右記のQRコードから、フォローして頂けると投稿の励みになるので、よろしくお願いいたします！



事務の岡崎が運営しています！

アカウントのQRコード



## 代表から一言

### 賃金高騰の波がきます！

世の中「値上げ」の嵐。特に食品、ガソリン代、電気代の高騰は我々生活者の財布を直撃します。その影響を一番受けるのが、賃金が安い若者や外国人労働者になります。彼らは生活苦をより痛感し、高い給与を求めこれまで以上に転職していきます。労働者が減少している日本において、高賃金を求めた転職者が増加するということは必然的に賃金高騰が起こります。コロナ禍を経たこの数年で、経営者と労働者の関係を大きく変化しました。「賃上げ」が先か、「従業員の能力向上」が先か！経営者としては、「従業員の能力向上」が先にきてもらわないと困るのですが、この道理が通用しない時代が来ています。

継続的な賃上げに消極的な企業からは、従業員が去り生産力が低下して廃業に追い込まれます。「賃金高騰」を常識としてとられ、継続的な「賃上げ」を前提としたビジネスモデルを確立した企業のみが、生き残ることになるでしょう。



大場 正樹